

財務諸表に関する注記

(1) 重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法……定率法によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,828,000	886,000	0	3,714,000
公益目的事業積立資産	6,000,000	0	0	6,000,000
運営資金積立資産	14,776,100	1,325	4,285,000	10,492,425
小 計	23,604,100	887,325	4,285,000	20,206,425
合 計	23,604,100	887,325	4,285,000	20,206,425

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	3,714,000	0	3,714,000	3,714,000
公益目的事業積立資産	6,000,000	0	6,000,000	
運営資金積立資産	10,492,425	0	10,492,425	
小 計	20,206,425	0	20,206,425	3,714,000
合 計	20,206,425	0	20,206,425	3,714,000

(4) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期処分数	当期末残高
什器備品	1,347,044	1,283,936	63,108	0
合 計	1,347,044	1,283,936	63,108	0

(5) 「職員退職金支給規程」を設け、職員に対する「退職給付引当金」を計上し、同額を「退職給付引当資産(預金)」として保有している。

「退職給付引当資産」 残高 3,714,000 円